

第45回 全日本 カッター競技大会

呉市制100周年プレイベント



日時／平成 **13年5月26日** (土) 8:30~17:00

会場／海上保安大学校前面海域 **〈雨天決行〉**

主催／全日本カッター連盟

主管／海上保安大学校 <http://www.jega.ac.jp/info/topics01/5-26.html>

後援／呉市・呉市教育委員会・呉市体育協会・中国新聞社
日本海事新聞社・中国放送・NHK広島放送局・テレビ新広島
広島ホームテレビ・広島テレビ・広島エフエム放送・海上保安協会

第45回 全日本カッター競技大会

日 時 平成13年5月26日(土) 8:30~17:00 (雨天決行)

主 催 全日本カッター連盟

主 管 校 海上保安大学校

会 場 海上保安大学校前面海域

後 援 呉市 呉市教育委員会 呉市体育協会 中国新聞社 日本海事新聞社
(複合同順) NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ
テレビ新広島 広島エフエム放送 海上保安協会

目 的 カッター競技を通じ、心身の鍛錬、とう漕技術の向上を図るとともに健全な海事思想の普及に資する。

参 加 校 鹿 児 島 大 学 神奈川歯科大学
(50音順) 神 戸 商 船 大 学 水 産 大 学 校
東 海 大 学 東 京 商 船 大 学
東 京 水 産 大 学 長 崎 大 学
日 本 大 学 防 衛 大 学 校
三 重 大 学 海 上 保 安 大 学 校
九州看護福祉大学 (オープン参加)

会 議 日 程

主将会議 日 時 5月25日(金) 13:00~14:30
場 所 海上保安大学校本館2階第一会議室
出席者 各校主将、主務
議 事 (1) 競技要領、審判規定の確認
(2) 使用艇及びコースの抽選
(3) 連盟費等の徴収、その他

連盟会議 日 時 5月26日(土) 大会終了後
(検討会) 場 所 海上保安大学校本館2階第一会議室
出席者 各校顧問、主将、主務
議 事 (1) 大会反省
(2) 決算報告、次回担当校決定、その他

全日本カッター連盟会長

吉 田 卓 也

大 会 役 員

会 長	海上保安大学校	校 長	青 木 稔
副会長	海上保安大学校	副 校 長	力 安 貞 直
審判長	海上保安大学校	訓練部長	神 戸 史 朗

顧問（男子クルー）

鹿 児 島 大 学	松 野 保 久	神奈川歯科大学	湯 川 徳 行
神 戸 商 船 大 学	古 莊 雅 生	水 産 大 学 校	下 川 伸 也
東 海 大 学	花 房 元 顕	東京商船大学	庄 司 邦 昭
東京水産大学	柿 原 利 治	長 崎 大 学	高 山 久 明
日 本 大 学	吉 原 喜 好	防 衛 大 学 校	中 村 鋭 介
	丹 後 充	海上保安大学校	花 井 一 浩
三 重 大 学	関 口 秀 夫		

顧問（女子クルー）

神 戸 商 船 大 学	古 莊 雅 生
水 産 大 学 校	下 川 伸 也
東京商船大学	庄 司 邦 昭
海上保安大学校	花 井 一 浩
九州看護福祉大学	佐々木 光 雄

実 行 委 員 会

実行委員長	4 年	通信	中 田 豪
審判	4 年	航海	堀ノ内 宏 行
接待 広報	3 年	機関	塩 見 英 晴
設標 警戒	3 年	航海	本 田 直 葵
進行 記録 会場設営	3 年	航海	吉 田 憲 明
配乗	4 年	機関	結 城 啓 介
庶務 会場	4 年	航海	宮 本 幹 夫

第45回全日本カッター競技大会を迎えて



全日本カッター連盟会長

吉 田 卓 也

生氣あふれる初夏となり、海風もすがすがしく感ずる季節となりました。

この度、宮崎先生の後を受け、全日本カッター連盟会長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、カッター競技の発展に全力で当たる所存でございます。

昭和32年に始まり、今年で45回を数えることとなりました全日本カッター競技大会でございますが、女子の部も定着し、回を重ねる毎に盛大な催しとなっていることに主催者として喜びに堪えないところでございますが、これも一重に、連盟各校のご協力の賜物と存じます。

さて、海という舞台で、ある意味、自然を相手とするカッター競技は、過酷なスポーツであるといわざるを得ませんが、選手の皆さんの熱き血潮を鎮めるには、まさしく打ってつけのものではないでしょうか。艇指揮を中心とし、クルー全員が心を一つにし、荒波の中にも切り込んでいく。そのような姿は、見る者の胸を熱くするところであります。選手の皆さんが、日頃の厳しい練習で培った漕艇技術と敢闘精神を十二分に発揮し、熱戦を展開されることを期待します。

最後に本大会を運営される主管校の皆様、また連盟各校の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成13年 5月

第45回全日本カッター競技大会を迎えて



第45回全日本カッター競技大会会長
海上保安大学校長

青 木 稔

陽光やわらかく降りそそぎ、若葉映える呉の地に全国の海事関係大学及び大学校の選手諸君を迎え、当校の開校50周年という節目に、21世紀最初の全日本カッター競技大会を開催出来ますことは、大変光栄であり、誠に喜びに堪えないところであります。

新世紀を迎え、社会を巡る情勢の変化が一段と激しさを増している昨今、この激動の時代を生き抜いていかなければならない若者が、カッターを通じ、不撓不屈の精神と強靱な体力を錬成することは、大変意義深いものであります。

選手諸君が、一糸乱れぬチームワークの下、平素の鍛練の成果を遺憾なく発揮し、好レースが展開されることを期待しております。また、当校は今大会を開校50周年記念行事と位置づけ、学生全員が一致団結して大会運営に当たっておりますので、今大会を通じて大いに友好の輪を広げられることを希望いたします。そして、今大会がいささかでも海事思想の普及に貢献することができれば幸いです。

おわりに、本大会の開催にあたり寄せられました関係各位のご援助とご厚意に対し、深甚なる謝意を表すとともに、今後とも一層のご支援をお願いいたします。

平成13年 5月



①鹿児島大学

練習の成果を全て出し、良い記録を出したい。



②神奈川歯科大学

事故を起こさぬように気をつけ、頑張りたいと思います。



③神戸商船大学

疾風に勁草を知る



④水産大学校

シーマンシップの精神で一漕ぎ一漕、全力で戦い合ひましょう。



⑤東海大学

大会までに、肉体的にも、精神的にも安定したものになるように、日々努力したいと考えています。クルー一丸となって大会に望みたいと考えています。



⑥東京商船大学

経験の少ないチームですが、他校に遅れをとらぬよう、頑張ります。



⑦東京水産大学

クルー一丸となり、今年こそ優勝します。



⑧長崎大学

カッター漕ぎます愛のため。



⑨日本大学

久しぶりに優勝旗を持って帰れるよう頑張ります。



⑩防衛大学校

3連覇！！



⑪三重大学

3年は少ないけど、女の底力で頑張ります。
呉の海を味わって漕ぎます。



⑫海上保安大学校

クルー一同、一丸となって優勝狙います。

女 子 ク ル ー



⑬神戸商船大学

ここ数年部員の人数も増え、活気も増してきました。
勝つために、楽しむために、全力を尽くしたいと思います。



⑭水産大学校

正式な部になってまだ数ヶ月で、すべてが模索状態ですが、少しでも好成績が残せるように頑張りたいです。



⑮東京商船大学

初参加ですが、堂々としたレースを目指します。



⑯九州看護福祉大学

初出場なので頑張りたいと思います。



⑰海上保安大学校

気合いの入ったクルーの顔にご注目ください！！

鹿 児 島 大 学

顧問	松 野 保 久						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	町 田 雄 樹		3	167	65	千葉西	(千 葉)
副 将	久 保 臣 悟	水産・水産	2	175	62	文徳	(熊 本)
主 務	米 澤 純 一	工・生体工	3	168	70	武岡台	(鹿児島)
艇指揮	米 澤 純 一	水産・水産	3	168	70	武岡台	(鹿児島)
艇 長	横 井 美 香	水産・水産	3	155		西春	(愛 知)
1							
2							
3	渡 邊 晋	工・電気	2	177	80	文徳	(熊 本)
4	米 良 倫 彦	水産・水産	2	172	68	杉戸	(埼 玉)
5	松 本 直 樹	工・生体工	2	170	66	大分豊府	(大 分)
6	町 田 雄 樹	水産・水産	3	167	65	千葉西	(千 葉)
7	浅 岡 哲 朗	工・生体工	2	174	68	宮崎北	(宮 崎)
8	河 野 篤 史	水産・水産	2	179	79	広島国際学院	(広 島)
9	久 保 臣 悟	工・生体工	2	175	62	文徳	(熊 本)
10	貝 原 本 充	水産・教員	2	170	61	倉敷南	(岡 山)
11	菊 永 孝 志	工・電気	2	173	63	指宿	(鹿児島)
12							
補 欠	服 部 五 華	水産・水産	3			鹿屋	(鹿児島)
補 欠							
補 欠							
補 欠							

神 奈 川 歯 科 大 学

顧問	湯 山 徳 行						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	田 中 雄 一 郎	歯学・歯学	6	175	65	静岡聖光	(愛 知)
副 将	寄 藤 浩 太	歯学・歯学	4	170	65	作新学院	(栃 木)
主 務	原 橋 宏 幸	歯学・歯学	4	170	65	有朋	(北海道)
艇指揮	平 領 倫 子	歯学・歯学	2	157		鶴見女子	(神奈川)
艇 長	池 谷 早 織	歯学・歯学	5	158			
1	寄 藤 浩 太	歯学・歯学	4	170	65	作新学院	(栃 木)
2	森 俊 樹	歯学・歯学	5	160	75		
3	明 石 大 介	歯学・歯学	6	170	65		
4	加 藤 洋 一	歯学・歯学	6	175	70		
5	富士田 謙 介	歯学・歯学	6	175	65		
6	新 倉 淳 一	歯学・歯学	1	170	65	東海大相模	(神奈川)
7	高 野 秀 一 郎	歯学・歯学	3	175	70	ラ・サール	(北海道)
8	藤 田 太 郎	歯学・歯学	3	175	65	錦城	
9	柏 木 裕 一 郎	歯学・歯学	2	175	65	出水	(鹿児島)
10	田 中 雄 一 郎	歯学・歯学	6	175	65	静岡聖光	(愛 知)
11	原 橋 宏 幸	歯学・歯学	4	170	65	有朋	(北海道)
12	横 村 康 彦	歯学・歯学	2	170	65		
補 欠	川 野	歯学・歯学	2	175	60		
補 欠							
補 欠							
補 欠							

神戸商船大学

顧問	古 莊 雅 生						
番号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	河 本 賢一郎	海洋電子機械工学	4	174	75	豊岡	(兵 庫)
副 将	前 西 秀 幸	海洋電子機械工学	4	178	65	若狭	(福 井)
主 務	大 澤 洋 平	機関	4	165	52	郡上	(岐 阜)
艇指揮	大 澤 洋 平	機関	4	165	52	郡上	(岐 阜)
艇 長	上 野 修	機関	4	172	62	札幌丘珠	(北海道)
1	永 井 隆 博	航海	3	165	55	青森戸山	(青 森)
2	栗 原 恒 太	海洋電子機械工学	3	179	55	熊本第二	(熊 本)
3	金 山 新 八	航海	2	175	60	西宮今津	(兵 庫)
4	加 藤 克 久	航海	2	170	65	愛知成章	(愛 知)
5	前 西 秀 幸	海洋電子機械工学	4	178	65	若狭	(福 井)
6	河 本 賢一郎	海洋電子機械工学	4	174	75	豊岡	(兵 庫)
7	松 本 匡 史	海洋電子機械工学	3	175	65	県立伊丹	(兵 庫)
8	長 渕 光 司	航海	3	165	58	朝倉	(福 岡)
9	黒 木 寛 一	航海	2	162	53	日向	(宮 崎)
10	高 井 健	輸送情報	2	165	57	西宮北	(兵 庫)
11	道 脇 紀 之	機関	3	162	52	西陵	(長 崎)
12	福 岡 将 之	航海	3	175	62	武生	(福 井)
補 欠	村 林 信 義	航海	2	171	60	西宮南	(兵 庫)
補 欠	高 橋 育 明	輸送情報	2	168	55	西大和学園	(奈 良)
補 欠							
補 欠							

水 産 大 学 校

顧問	下 川 伸 也						
番号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	荒 木 勇 雄	機械	3	182	75	香住丘	(福 岡)
副 将	春 田 晃 志	機械	3	182	66	安城東	(愛 知)
主 務	前 川 拓 哉	管理	3	166	52	名古屋学院	(愛 知)
艇指揮	平 木 伸 彦	管理	3	170	68	松山北	(愛 媛)
艇 長	下 川 哲 史	管理	2	170	57	荅洋	(熊 本)
1	土 橋 一 磨	管理	2	170	59	北摂三田	(兵 庫)
2	山 崎 元 裕	機械	3	176	65	臼杵	(大 分)
3	保 田 紘 伸	管理	2	175	55	熊本北	(熊 本)
4	前 川 拓 哉	管理	3	166	52	名古屋学院	(愛 知)
5	仙 元 隆	管理	2	166	60	東山	(京 都)
6	諏 訪 猛	食品	3	175	75	れいめい	(鹿 児 島)
7	荒 木 勇 雄	機械	3	182	75	香住丘	(福 岡)
8	春 田 晃 志	機械	3	182	66	安城東	(愛 知)
9	山 本 智 之	管理	3	178	75	熊本西	(熊 本)
10	大 谷 亮 輔	管理	3	176	72	西湘	(神奈川)
11	青 木 達 也	機械	3	170	63	舞子	(兵 庫)
12	伊 藤 新 悟	食品	3	177	63	安古市	(広 島)
補 欠	河 野 晋 悟	経営	2	157	54	北千里	(大 阪)
補 欠	松 本 忠 之	経営	2	172	67	東福岡	(福 岡)
補 欠	小 島 史 義	管理	2	170	62	日新西	(愛 知)
補 欠	大 関 和 久	食品	2	172	57	島田	(静 岡)

東 海 大 学

顧問	花 房 元 顕					
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校 (出身県)
主 将	藤 本 聖 之	海洋科学	4	160	65	川越東 (埼 玉)
副 将						
主 務	佐 川 光	航海工	4	175	70	青森南 (青 森)
艇指揮	小 池 陽	水産	4	178	70	私立桜丘 (神奈川)
艇 長	佐 川 光	航海工	4	175	70	青森南 (青 森)
1	渡 辺 義 人	水産	2	178	68	保善 (東 京)
2	小 池 太 郎	水産	3	180	65	東海大附属第一(静 岡)
3	藤 本 聖 之	海洋科学	4	160	65	川越東 (埼 玉)
4	長 嶋 崇	海洋科学	4	172	62	横須賀学院 (神奈川)
5	松 中 哲 也	海洋科学	3	176	66	富田林 (大 阪)
6	大 原 基 彰	海洋科学	3	176	70	東海大附属仰星(大 阪)
7	鈴 木 貴 博	地球環境工	3	172	66	九十九里 (千 葉)
8	山 下 真	海洋資源	3	176	65	水橋 (富 山)
9	山 成 貴 之	航海工	3	160	60	明星 (東 京)
10	鈴 木 剛 二	海洋科学	4	160	65	流山中央 (千 葉)
11	町 田 恭 宏	海洋科学	3	182	65	宇都宮北 (栃 木)
12	丸 山 敬 司	海洋科学	4	161	64	日中農業 (新 潟)
補 欠	中 崎 洋 輔	海洋科学	3	172	59	大阪学院大学(大 阪)
補 欠	石 原 尚 典	地球環境工	3	180	83	浜松工学 (静 岡)
補 欠						
補 欠						

東 京 商 船 大 学

顧問	庄 司 邦 昭					
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校 (出身県)
主 将	岡 留 智 広	交通	4	171	58	都城西 (宮 崎)
副 将	小 山 博 幸	機関	3	175	70	東陵 (宮 城)
主 務	斎 藤 泰 治	交通	3	167	55	御殿場西 (静 岡)
艇指揮	三 浦 修	航海	2	169	58	泉 (宮 城)
艇 長	河 合 陽 子	航海	2	154		新潟東 (新 潟)
1	井 神 幸 佑	機関	3	176	66	鹿屋 (鹿児島)
2	岡 留 智 広	交通	4	171	58	都城西 (宮 崎)
3	山 中 基 大	機関	2	172	83	三池 (福 岡)
4	石 原 大 樹	機関	3	170	55	姫路 (兵 庫)
5	黒 沢 洋 介	航海	2	179	64	真岡 (栃 木)
6	田 口 靖 博	航海	2	169	68	松浦 (長 崎)
7	小 山 博 幸	機関	3	175	70	東陵 (宮 城)
8	濱 田 大 助	機関	3	173	84	高蔵寺 (愛 知)
9	上 地 賢太郎	航海	2	168	68	那覇 (沖 縄)
10	前 田 篤 史	航海	2	165	60	四日市 (三 重)
11	田 村 尚 久	機関	3	167	58	八戸北 (青 森)
12	斎 藤 泰 治	交通	3	167	55	御殿場西 (静 岡)
補 欠						
補 欠						
補 欠						
補 欠						

東京水産大学

顧問	柿原利治						
番号	氏名	学部・学科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主将	松永伸自	海洋生産	4	170	68	桐生	(栃木)
副将	大塚信治	資源管理	4	182	78	大手前	(大阪)
主務	川村達郎	資源育成	4	168	60	伊勢崎	(群馬)
艇指揮	川村達郎	資源育成	4	168	60	伊勢崎	(群馬)
艇長	藤沢国彦	海洋生産	3	180	75	麗澤	(東京)
1	梶原正俊	海洋生産	3	168	75	英数学館	(広島)
2	大川 顕	海洋環境	3	171	68	越ヶ谷	(埼玉)
3	萬 浩次郎	資源管理	2	171	68	大船	(神奈川)
4	菊地太一	海洋生産	2	168	58	千葉明德	(千葉)
5	栗原雄介	海洋環境	2	177	74	市立南	(神奈川)
6	松永伸自	海洋生産	4	170	68	桐生	(栃木)
7	大塚信治	資源管理	4	182	78	大手前	(大阪)
8	脇 浩規	資源育成	3	177	75	聖学院	(千葉)
9	辻野秀明	食品生産	3	179	66	市立銚子	(千葉)
10	川崎清文	食品生産	4	174	70	藤伏	(茨城)
11	村永和哉	海洋環境	3	170	60	大分上野丘	(大分)
12	植田 誠	海洋生産	3	155	54	御殿場南	(静岡)
補欠	豊田真之	海洋生産	2	176	65	竜ヶ崎第一	(茨城)
補欠	小崎俊太郎	海洋環境	2	178	66	浅野	(神奈川)
補欠	山本剛隆	海洋生産	2	176	62	宇治山田	(三重)
補欠	田村大輔	資源育成	2	178	62	厚木西	(神奈川)

長崎大学

顧問	高山久明						
番号	氏名	学部・学科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主将	平野洋一郎	応用生物化学	3	172	66	明善	(福岡)
副将	村田洋一	環境科学	3	179	70	川越東	(埼玉)
主務	永田嗣巳	生物生産	3	173	60	静岡学園	(静岡)
艇指揮	福谷 潤	環境科学	3	152	50	広島商船高専	(広島)
艇長	松尾 暁憲	生産管理	3	165	50	泰星	(福岡)
1	松本良太	生産管理	3	179	80	柏陵	(福岡)
2	藤井剛洋	環境科学	3	175	70	明石北	(兵庫)
3	永田嗣巳	生物生産	3	173	60	静岡学園	(静岡)
4	大塚明德	応用生物化学	2	178	74	長崎南	(長崎)
5	豊田弘之	環境科学	2	178	65	犬山南	(愛知)
6	青山 智	応用生物化学	3	179	70	熊本第二	(熊本)
7	村田洋一	環境科学	3	179	70	川越東	(埼玉)
8	平野洋一郎	応用生物化学	3	172	66	明善	(福岡)
9	長谷隆之	環境科学	2	173	63	豊中	(大阪)
10	藤下裕介	生産管理	2	173	65	苓洋	(熊本)
11	金谷智弘	環境科学	3	178	62	姫工大附属	(兵庫)
12	石黒信昌	環境科学	2	168	56	新湊	(富山)
補欠	加賀裕通	生産管理	2	180	74	八戸水産	(青森)
補欠	赤羽祥明	生物生産	2	183	63	宇都宮東	(栃木)
補欠	藤倉慎也	生物生産	2	170	55	浜松西	(静岡)
補欠	徳永正嗣	応用生物化学	2	160	68	東福岡	(福岡)

日 本 大 学

顧問	吉原 喜 好						
番号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	山 本 修 吾	海洋	4	168	62	松阪	(三 重)
副 将	今 井 竜 馬	動物	4	174	78	別海	(北海道)
主 務	中 村 明 洋	森林	4	166	59	日大二高	(東 京)
艇指揮	山 本 修 吾	海洋	4	168	62	松阪	(三 重)
艇 長	中 村 明 洋	森林	4	166	59	日大二高	(東 京)
1	井 出 寿 利	植物	3	172	70	平塚農業	(神奈川)
2	福 井 陽 士	獣医	3	183	74	日大	(神奈川)
3	相 良 哲 平	獣医	3	169	65	新羽	(神奈川)
4	本 間 裕 基	森林	3	171	74	静岡学園	(静 岡)
5	斎 藤 豪 一	応用生物	4	174	69	都立日比谷	(東 京)
6	斎 藤 昌 史	森林	3	178	75	伊豆中央	(静 岡)
7	今 井 竜 馬	動物	4	174	78	別海	(北海道)
8	橋 本 禎 之	海洋	4	175	70	可児	(岐 阜)
9	安 藤 修 三	国際	3	177	68	日大三高	(東 京)
10	奥 村 康太郎	森林	3	173	60	蕨	(埼 玉)
11	服 部 景 太	森林	3	173	61	早鞆	(山 口)
12	石 野 由 恭	海洋	3	163	60	越谷北	(埼 玉)
補 欠	松 尾 心 哉	環境工学	2	172	70	長崎日大	(長 崎)
補 欠	木 村 悟	環境工学	2	175	70	日大二高	(東 京)
補 欠							
補 欠							

防 衛 大 学 校

顧問	中 村 鋭 介						
番号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	富 野 匠	数学物理	4	165	60	三鷹	(東 京)
副 将	中 川 博 史	材料物性	4	175	68	半田	(愛 知)
主 務	田原 健太郎	電気	3	186	76	宗像	(福 岡)
艇指揮	富 野 匠	数学物理	4	165	60	三鷹	(東 京)
艇 長	吉 岡 幸 治	電子	3	164	57	大安寺	(岡 山)
1	小 泉 正 芳	機械システム	2	170	73	東山	(京 都)
2	小賀坂 彰 一	国際関係	4	175	76	福島東	(福 島)
3	中 川 博 史	材料物性	4	175	68	半田	(愛 知)
4	原 田 岳	航空宇宙	4	172	70	灘	(兵 庫)
5	佐 藤 貴 昭	航空宇宙	3	170	64	伊集院	(鹿児島)
6	兵 藤 満 治	機械システム	4	168	66	野村	
7	村 岡 大 樹	電気	4	176	66	光陵	(神奈川)
8	山 崎 聡 一	管理	3	177	70	岐阜	(岐 阜)
9	井 上 靖 也	管理	4	166	64	人吉	(熊 本)
10	武 田 道 成	情報	3	176	66	盛岡第一	(岩 手)
11	小 室 正 憲	材料物性	3	168	63	松江南	(島 根)
12	柿 本 文 雄	応用化学	3	167	61	修道	(広 島)
補 欠	近 藤 太 郎	管理	4	168	73	土佐	(高 知)
補 欠	鎌 倉 洋 介	精密機械	4	173	70	愛知産業大学附属三河	(愛 知)
補 欠	山 本 祐 輔	国際関係	4	169	69	久留米大附設高	(熊 本)
補 欠							

三 重 大 学

顧問	関 口 秀 夫						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	山 田 高 弘	工・電気電子工	3	180	63	津島東	
副 将	小 林 普 尚	工・電気電子工	3	172	55	暁	
主 務	佐 藤 摩 郁	人文・社会	2	171		西春	
艇指揮	山 田 高 弘	工・電気電子工	3	180	63	津島東	
艇 長	小 林 普 尚	工・電気電子工	3	172	55	暁	
1	渡 辺 真 弓	生物圏生命科学	2	160		豊橋東	
2	野 尻 晶 子	人文・社会科学	2	168		斐太	
3	日比野 有 記	人文・社会科学	2	160		五条	
4	三 谷 佳 奈	人文・社会科学	2	159		津	
5	藤 井 咲 恵	人文・社会科学	2	162		東海南	
6	佐 藤 摩 郁	医・看護	2	171		西春	
7	清 水 喜 穂	人文・文化	3	162		津山	
8	吉 野 利 那	人文・社会科学	2	160		西春	
9	小日向 雅 治	生物圏生命科学	4				
10	赤 田 仁 典	工・電気電子	2				
11	小 牧 宏 彰	工・電気電子	4				
12	野間田 裕	人文・社会科学	4				
補 欠							
補 欠							
補 欠							
補 欠							

海上保安大学校

顧問	花 井 一 浩						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	阿 部 伸 洋	航海	4	168	65	境	(鳥 取)
副 将	後 藤 慎 治	航海	4	174	75	府中	(広 島)
主 務	後 藤 慎 治	航海	4	174	75	府中	(広 島)
艇指揮	後 藤 慎 治	航海	4	174	75	府中	(広 島)
艇 長	今 野 知 行	機関	4	170	65	古川商業	(宮 城)
1	八 木 洋 平		2	170	70	今治北	(愛 媛)
2	田 中 利 宜	機関	3	166	56	横須賀	(愛 知)
3	鈴 木 輝 大	機関	3	174	70	長岡	(新 潟)
4	阿 部 伸 洋	航海	4	168	65	境	(鳥 取)
5	岩 間 利 隆	航海	4	178	80	釜石南	(岩 手)
6	伊 藤 大 介		2	177	74	札幌東	(北海道)
7	若 狭 翁 介		2	178	69	札幌藻岩	(北海道)
8	東 義 治	機関	3	172	72	鈴蘭台	(兵 庫)
9	宮 田 謙太郎		2	172	65	松山南	(愛 媛)
10	倉 品 剛	航海	3	170	80	沼田	(群 馬)
11	池 田 知 英	航海	4	169	65	長崎南	(長 崎)
12	岡 田 裕 樹	航海	3	169	69	延岡学園	(宮 崎)
補 欠							
補 欠							
補 欠							
補 欠							

女子出漕クルー

神戸商船大学

顧問	古 莊 雅 生						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	重 富 郁 子	航海	4	165		日 田	(大 分)
副 将	伊 藤 裕 子	航海	3	159		北大和	(奈 良)
主 務	近 藤 有 紀	航海	3	157		小野田	(山 口)
艇指揮	伊 藤 裕 子	航海	3	159		北大和	(奈 良)
艇 長	真 野 由 香	航海	3	156		豊岡	(兵 庫)
1	藤 生 加 奈	航海	2	150		桐生	(群 馬)
2	重 富 郁 子	航海	4	165		日 田	(大 分)
3	近 藤 有 紀	航海	3	157		小野田	(山 口)
4	守 川 美 香	航海	2	158		西宮北	(兵 庫)
5	鶴 見 幸	航海	3	156		静岡東	(静 岡)
6	森 脇 千 春	航海	3	158		ノートルダム清心	(広 島)
補 欠	濱 谷 ゆかり	海洋	2	152		平城	(奈 良)
補 欠	藤 田 あ い	海洋	2	157		京都文教女子	(京 都)
補 欠							
補 欠							

水 産 大 学 校

顧問	下 川 伸 也						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	竹 山 優 子	海洋生産管理	2	163		北摂三田	(兵 庫)
副 将	阿 賀 亜希子	食品化学	2	153		新居浜西	(愛 媛)
主 務	杉 原 百合子	海洋生産管理	2	165		北摂三田	(兵 庫)
艇指揮	長 田 真由美	食品化学	2	153		広島女学院	(広 島)
艇 長	渡 辺 三希子	海洋機械工	2	165		村上	(新 潟)
1	森 川 綾 子	生物生産	2	168		尼崎稲園	(兵 庫)
2	杉 原 百合子	海洋生産管理	2	165		北摂三田	(兵 庫)
3	竹 山 優 子	海洋生産管理	2	163		北摂三田	(兵 庫)
4	阿 賀 亜希子	食品化学	2	153		新居浜西	(愛 媛)
5	田 中 綾 子	海洋生産管理	2	160		豊田北	(愛 知)
6	太 田 多 栄	海洋生産管理	2	150		西宮東	(兵 庫)
補 欠							
補 欠							
補 欠							
補 欠							

女子出漕クルー

東京商船大学

顧問	庄司 邦昭						
番号	氏名	学部・学科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主将	岡留 智広	交通	4	171	58	都城西	(宮崎)
副将	小山 博幸	機関	3	175	70	東陵	(宮崎)
主務	斎藤 泰治	交通	3	167	55	御殿場西	(静岡)
艇指揮	鈴木 愛子	航海	3	162		東京女学館	(東京)
艇長	石原 大樹	機関	3			姫路	(兵庫)
1	松本 愛子	航海	3	154		桐光学園	(神奈川)
2	阿部 明日美	航海	3	160		清泉女学院	(神奈川)
3	田名後 祥子	航海	3	153		岡山城東	(岡山)
4	野口 枝里	航海	3	162		七里が浜	(神奈川)
5	河合 陽子	航海	2	152		新潟東	(新潟)
6	渡辺 葉子	航海	3	160		鳥羽高専	(三重)
補欠	大志保 光子	機関	3			深川	(東京)
補欠	永井 淳子	機関	2	152		磐城	(福島)
補欠							
補欠							

九州看護福祉大学 (オープン参加)

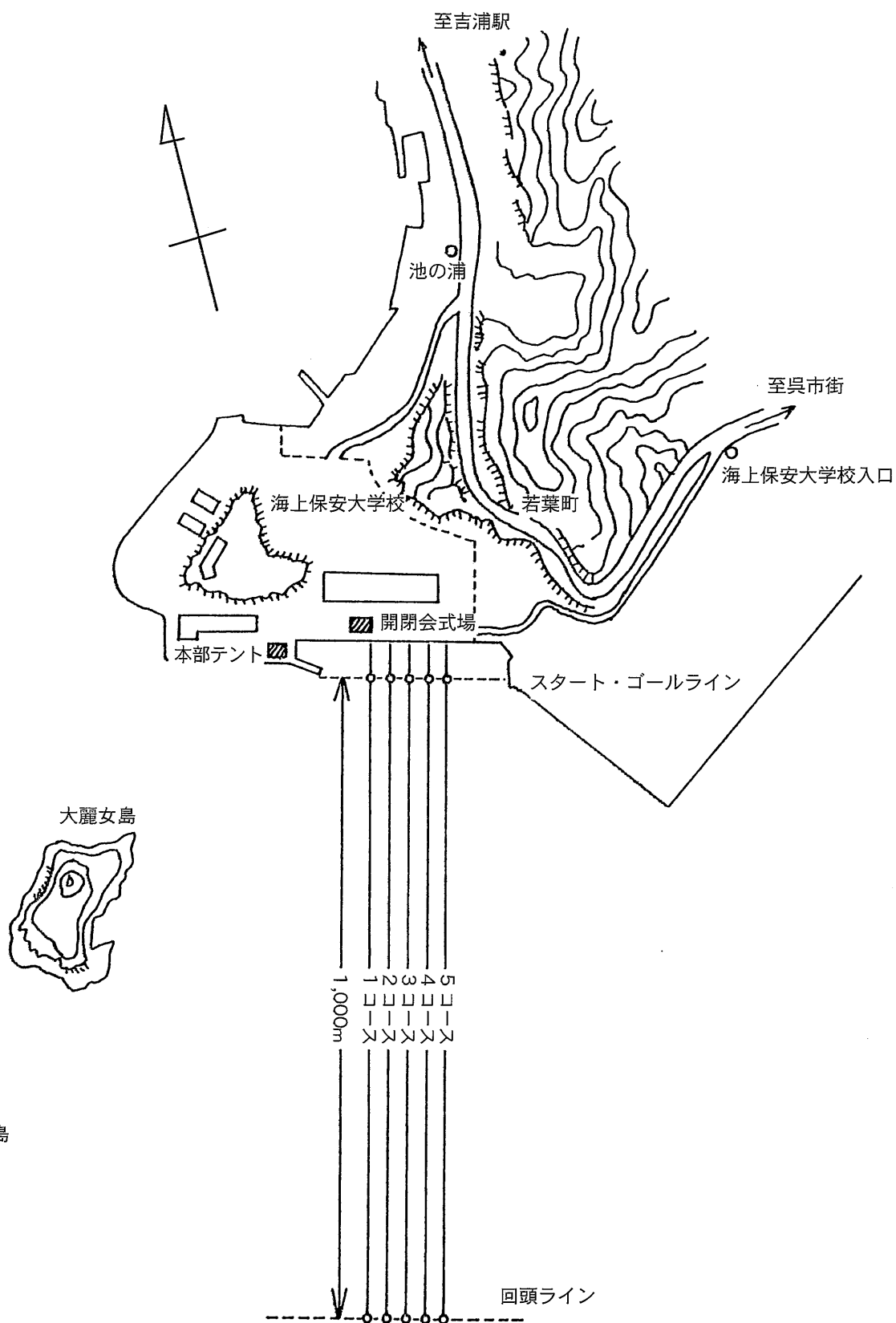
顧問	佐々木 光雄						
番号	氏名	学部・学科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主将	三浦 修	看護	2	176	68	壱岐	(長崎)
副将	金田 幸子	社会福祉	2	154		大津	(熊本)
主務	内田 美幸	社会福祉	2	154		湧心館	(熊本)
艇指揮	坂本 美佳	看護	2	162			(熊本)
艇長	三浦 修	看護	2	176	68	壱岐	(長崎)
1	三小田 泰子	看護	3	159		八女	(福岡)
2	吉野 明日香	看護	3	154		水俣	(熊本)
3	内田 美幸	社会福祉	2	154		湧心館	(熊本)
4	神谷 ありさ	社会福祉	2	153		向陽	(沖縄)
5	田坂 那美	看護	3	155		中村学園	(福岡)
6	金田 幸子	社会福祉	2	154		大津	(熊本)
補欠	倉本 愛子	社会福祉	2	151		湧心館	(熊本)
補欠	石原 絵里香	社会福祉	2	165		熊本北	(熊本)
補欠	坂田 美奈子	社会福祉	2	153		熊本北	(熊本)
補欠	川谷 ひとみ	看護	2	163			(大分)

女子出漕クルー

海上保安大学校

顧問	花井 一 浩						
番 号	氏 名	学 部 ・ 学 科	学年	身長(cm)	体重(kg)	出身校	(出身県)
主 将	秋 山 勇 一	機関	4	170	75	開明	(大 阪)
副 将							
主 務	大 町 幸		2	159		岩見沢東	(北海道)
艇指揮	秋 山 勇 一	機関	4	170	75	開明	(大 阪)
艇 長	柴 田 理 香	通信	3	161		尾鷲	(三 重)
1	利 光 裕 子	機関	3	160		大分舞鶴	(大 分)
2	平 山 恭 子		2	152		安田女子	(広 島)
3	亀 甲 亜紀子	航海	3	168		鶴丸	(鹿児島)
4	鈴 木 香緒里	機関	4	157		大館鳳鳴	(秋 田)
5	鈴 木 絵 美	航海	3	154		東筑	(福 岡)
6	中 村 真 弓		2	157		松江東	(島 根)
補 欠							
補 欠							
補 欠							
補 欠							

会場略図



審判規定

1. 競技内容

競技は直線1000mのコースを回頭、折り返しによる2000mで実施する。

レースは予選、敗者復活、順位決定及び決勝の全4方式で行う。

(1) 敗者復活レース

予選各レース第2位及び第3位のうちタイム順上位2チーム、計5チームによって行う。

(2) 順位決定レース

予選各レース第4位及び第3位のうちタイム順下位1チーム、計4チームによって行う。

(3) 決勝レース

予選各レース第1位及び敗者復活レースに参加した上位2チーム、計5チームによって行う。

2. 使用艇の決定

予選に使用する艇及びコースは前日に各々抽選によって決定し、敗者復活レース、順位決定レース及び決勝レースに使用する艇及びコースは当日の抽選により決定する。ルールは原則として各艇に備えているものとする。

3. 艇員

艇員は艇指揮、艇長、漕手12、補欠2、計16名とする。なお補欠は全レースを通して2名とし、レース中の交代も自由とする。なお、艇員の性別は問わない。

4. 使用艇搭載物品

使用艇は所定の物品を搭載する。

5. 出場艇の標識

各出場艇は当該校の標識を艇尾旗竿に掲揚する。ただし、スタート後はこの限りではない。

6. 発進要領

(1) 発進は各艇がスタートラインに並び次第行い、トグルは使用しない。

(2) スタート5分前に審判員がマイクにより、コース順にスタートラインに整列するように通達する。艇長は用意が完了したら、陸上の審判員に白旗を直立して合図する。

(3) スタート：号笛短声連続、手旗2原画号笛1声手旗頭上より1回転し、頭上から振り下ろした時をスタートとする。それに合わせ号砲を撃つ。

(4) 発動は定刻に行い、原則として変更はしない。ただし、ブイ修正のため審判長は発動時刻を遅らせることができる。

(5) 艇員に起因する発進の遅滞等についてはこれを考慮しない。

7. 漕走中の規則、及び注意

(1) 各艇は定められた自己のコースを漕走するものとする。

(2) 各艇は原則として完走するものとし、途中の棄権は認めない。スタート合図前に飛び出した艇も完走しなければならない。ただし自艇の障害(*)及びこれに類する場合を除く。

(3) 互いにコースの端を航行して接触の恐れのある場合は、後行艇が先行艇の進路を避けるものとする。

(4) レース中のコースにおける障害は、他艇の不正な接触等を除くほか各艇これを忍ぶべきものとする。

Ex：風潮、他船の引き起こす波、漂流物 等

(*) 自艇の障害…航行することが出来ないと審判長が認める場合

8. 回頭要領

回頭は左回頭(反時計回り)とし、回頭は指定の回頭旗を回頭するものとする。

9. ゴール

- (1) 艇首が規定のゴールラインに入った順序を以って、順位とし審判する。
- (2) 同着の場合は追い込み艇の勝ちとし、追い込み艇の判定の困難な場合は回頭旗を遅れて回頭終了（回頭を終わって船首をゴールラインに向首した時点）した艇を追い込み艇とする。以上の判定でも判定が困難な場合は同着とし次位を空位とする。
- (3) オールを海中に取られた状態のままゴールしても失格としない。

10. 失格事項

次の各号に該当する行為で、審判長が判定した場合は失格とする。ただし、本審判規定における失格とは当該レースにのみ関するものであり、その成績は当該レースの最下位とみなす。

- (1) 審判長、もしくは審判員の指示、または注意に従わなかった場合。
- (2) 「各艇その位置」の合図によりかい上げを行ってから発動までにオールを海面につけた場合。
- (3) 他のコースに侵入して他艇と接触し、または他艇の進路を妨害した場合。
- (4) 回頭旗、回頭の方向を間違えた場合。
- (5) 回頭の際、回頭旗、回頭ブイに艇の一部、またはオールの一部でも接触した場合。
- (6) 所定の搭載物品を搭載することなく競技に出場した場合。
- (7) 所定の搭載物品（折れたオールを除く）を流失し、これを揚収することなく競技を続行した場合。
- (8) その他、不正行為のあった場合。ただし失格行為が不可抗力によるものと審判長が認めた場合はこの限りではない。

11. 異議申立

- (1) 各艇の艇指揮は発動までに主催者に起因し、競技に支障のある不備に対し赤旗を上げた後、審判員に異議申立をすることができる。
- (2) 競技に対する異議申立等は、艇指揮が審判員に対して速やかにこれを行うものとし、審判長がこれを裁決する。

なお、女子レースにあたっては、以下の項目については前記と異なる。

1. 競技方式

回頭なしの直線1000mで実施する。また、決勝レースのみ実施する。

2. 使用艇の決定

決勝に使用する艇及びコースはレース前日に各々抽選によって決定する。オールは原則として各艇に備えてあるものとする。

3. 艇員

艇員は艇指揮、艇長、漕手6、補欠1、計9名とする。なお漕手は女子のみとするが艇指揮、艇長の性別は問わない。また、一般レースとの掛け持ちを認める。補欠が女子の場合はレース中の交代も自由とする。

8. 回頭要領

回頭は行わない。

9. (2) 同着の場合は追い込み艇の勝ちとし、追い込み艇の判定の困難な場合は、中間地点を遅れて通過した艇を追い込み艇とする。以上の判定方法でも判定が困難な場合は同着とし次位を空位とする。

10. 失格事項

- (4) 及び (5) を除く。

レ ー ス 結 果

第45回全日本カッター競技大会 平成13年5月26日(土)
会 場：海上保安大学校
海上保安大学校前面海域

時 刻	レ ー ス	コース	学 校 名 艇NO.	着 順	タ イ ム
09:55	予選第1レース	1	東京商船大学 4	2	13'22"67
		2	神奈川歯科大 1	3	15'11"54
		3	防衛大 2	1	12'01"07
		4	三重大 5	4	17'01"70
10:45	27-好洞 予選第2レース	1	長崎大 2	1	12'01"18
		2	神戸商船大 4	3	13'00"72
		3	東京水産大 1	2	12'15"14
		4	鹿児島大 6	4	13'59"25
11:35	予選第3レース	1	日本大 5	3	12'21"84
		2	海上保安大 6	1	11'42"94
		3	水産大学校 2	4	12'31"30
		4	東海大 1	2	12'05"81
12:30 ↓ 13:05 スタート	bc South 3(7Kto) 波高30cm 女子レース	1	22-神戸商船大	2	7'57"57
		2	5-九州看護福祉大	4	9'27"67
		3	4-東京商船大	5	9'54"92
		4	11-水産大学校	1	7'22"50
		5	23-海上保安大学校	3	8'14"46
13:35 ↓ 14:05 スタート	c South 3(7Kto) 波高30cm 27-好洞 敗者復活レース	1	東海大 2	3	12'26"23
		2	東京水産大 4	4	12'37"54
		3	神戸商船大 6	2	12'21"67
		4	東京商船大 5	5	12'35"39
		5	日本大 1	1	12'18"19
14:30	順位決定レース	1	水産大 1	1	12'08"55
		2	三重大 4	4	16'18"43
		3	神奈川歯科大 2	3	15'41"71
		4	鹿児島大 6	2	14'01"84
15:40	0 Calm Sea Calm 決勝レース	1	海上保安大 1	1	11'26"82
		2	日本大 4	4	12'20"18
		3	神戸商船大 2	5	12'45"49
		4	防衛大 6	2	11'29"23
		5	長崎大 5	3	11'45"31

過去第35回～第44回の成績

	会場 開催日	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位
第35回	呉 3.5.19	鹿大 11:07.7	防衛大 11:14.7	東水大 11:28.6	神商大 11:45.9	東商大 11:58.1	東海大 11:25.2	海保大 11:26.7	長崎大 11:53.3	水産大 11:56.6	日本大 12:03.5	海技大 13:05.2	神歯大 13:15.7	三重大 13:39.6	電通大 14:47.9
第36回	伊勢町 4.5.17	海保大 12:43.0	防衛大 12:55.2	東商大 13:12.6	水産大 13:18.8	東水大 13:21.2	日本大 13:45.2	長崎大 14:37.5	鹿大 14:37.5	神歯大 16:29.4	神商大 12:12.6	東海大 12:34.7	三重大 14:03.5	電通大 14:59.8	
第37回	六甲港 5.5.30	防衛大 14:02.1	東商大 14:39.6	水産大 14:56.0	海保大 15:06.7	神商大 15:13.0	東水大 17:11.2	日本大 17:50.2	神歯大 19:15.8	長崎大 15:38.0	三重大 15:40.5	鹿大 16:17.3	東海大 16:36.0	海技大 16:46.0	
第38回	呉 6.5.21	海保大 11:33.0	水産大 11:33.0	日本大 11:35.5	東商大 11:50.8	鹿大 11:57.7	長崎大 11:30.4	神商大 11:33.3	防衛大 11:36.2	東水大 11:46.4	三重大 11:54.7	東海大 12:41.4	神歯大 13:39.2		
第39回	伊勢町 7.5.20	水産大 13:29.0	防衛大 13:34.0	神商大 13:39.0	東水大 14:25.0	日本大 12:26.0	東商大 12:56.0	長崎大 13:07.0	三重大 13:25.0	鹿大 13:36.0	海保大 14:15.0	東海大 14:22.0	神歯大 17:31.0		
第40回	呉 8.5.18	防衛大 11:33.0	長崎大 11:38.2	東水大 11:50.6	水産大 12:02.5	東海大 12:10.9	鹿大 12:10.4	日本大 12:16.5	海保大 12:21.1	神商大 12:12.5	三重大 12:13.8	東商大 12:31.9	神歯大 14:48.3		
第41回	走水 9.5.17	日本大 12:13.0	水産大 12:38.0	海保大 12:51.0	東水大 13:06.0	防衛大 12:19.0	東商大 12:22.0	東海大 12:29.0	神商大 12:32.0	長崎大 12:36.0	鹿大 12:42.0	三重大 12:56.0	神歯大 14:46.0		
第42回	神戸 10.5.16	水産大 12:57.55	海保大 13:08.02	東海大 13:39.05	防衛大 14:21.56	神商大 14:42.58	東水大 13:20.96	日本大 13:37.34	長崎大 14:04.13	鹿大 15:59.14	三重大 16:03.24	東商大 19:20.97	神歯大 19:24.77	海技大 19:47.12	
第43回	呉 11.5.22	防衛大 11:28.1	海保大 11:31.2	東水大 11:34.3	日本大 11:46.4	長崎大 12:10.5	神商大 12:03.3	水産大 12:07.6	東海大 13:39.05	鹿大 15:59.14	三重大 16:03.24	東商大 19:20.97	神歯大 19:24.77		
第44回	走水 12.5.27	防衛大 13:10	東海大 13:35	長崎大 13:49	神商大 14:44	東水大 13:49	水産大 14:06	鹿大 14:35	海保大 12:44	日本大 13:53	東商大 15:26	神歯大 17:50	三重大 18:59		

女子の部の成績

	会場 開催日	1位	2位	3位	4位	5位
第43回	呉 11.5.22	海保大 7:28.1	三重大 7:36.2	東海大 8:06.3	水産大 8:20.4	神商大 8:25.5
第44回	走水 12.5.27	防衛大 7:17	海保大 7:20	東海大 7:57	三重大 9:01	日本丸財団 8:24

優勝ベストタイム (第5回大会以降)

1	海上保安大学校	10:13.2
2	神戸商船大学	10:23.0
3	海上保安大学校	10:34.3
4	防衛大学校	10:50.2
5	防衛大学校	10:56.6

過去優勝回数

防衛大学校	12回
東京水産大学	10回
海上保安大学校	7回
神戸商船大学	5回
水産大学校	4回

1. 女子の部は第43回大会から正式競技となりました。
2. 女子の部は6m6人乗りカッターによる、回頭なしの1000m直線で競います。

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dotted lines.



第45回全日本カッター競技大会結果

平成13年5月26 日(土)

海上保安大学校前面海埭

レ ー ス	コース	学 校 名	着 順	タ イ ム
予選第1レース	1	東京商船大学	2	13'32"67
	2	神奈川歯科大学	3	15'11"54
	3	防衛大学校	1	12'01"07
	4	三重大学	4	17'01"70
予選第2レース	1	長崎大学	1	12'01"18
	2	神戸商船大学	3	13'00"72
	3	東京水産大学	2	12'15"14
	4	鹿児島大学	4	13'59"25
予選第3レース	1	日本大学	3	12'21"84
	2	海上保安大学校	1	11'42"94
	3	水産大学校	4	12'31"30
	4	東海大学	2	12'05"81
女子レース	1	神戸商船大学	2	7'57"57
	2	九州看護福祉大学	4	9'27"67
	3	東京商船大学	5	9'54"92
	4	水産大学校	1	7'22"50
	5	海上保安大学校	3	8'14"46
敗者復活レース	1	東海大学	3	12'26"23
	2	東京水産大学	4	12'37"54
	3	神戸商船大学	2	12'21"67
	4	東京商船大学	5	13'35"39
	5	日本大学	1	12'18"19
順位決定レース	1	水産大学校	1	12'08"55
	2	三重大学	4	16'18"43
	3	神奈川歯科大学	3	15'41"71
	4	鹿児島大学	2	14'01"84
決勝レース	1	海上保安大学校	1	11'26"82
	2	日本大学	4	12'20"18
	3	神戸商船大学	5	12'45"49
	4	防衛大学校	2	11'29"23
	5	長崎大学	3	11'45"31

総合順位

一般	優勝	海上保安大学校
	準優勝	防衛大学校
	3位	長崎大学
女子	優勝	水産大学校
	準優勝	神戸商船大学
	3位	海上保安大学校



海上保安大学校